

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林ふれあい推進センター・こだま通信



森林の調査隊！！フォトコンテスト

～最終審査会を公開で開催し入選作品を表彰～

「身近な森林(もり)・里山の動植物や森林と人との関わり」をテーマとして、3枚1組の写真を募集したところ、東は東京都、西は広島県までの都府県から、学校、ボランティア団体、企業・家族等から60組、180枚の作品の応募があり、11月12日(火)に近畿中国森林管理局において、一次審査を行い、30組の作品を選抜しました。

また、12月1日(日)には、最終審査会を京都市清水寺「経堂」において、公開で開催しました。当日は、農学博士の只木良也氏、フリーアナウンサーの青山佳世氏、フィールドソサイエティー事務局長の久山慶子氏、箕面昆虫館長の久留飛克明氏を審査員に迎え、前川泰一郎局長も審査に加わり、最終審査に残った30組の代表から、スクリーンに映し出された作品を前にメッセージを発表してもらい、林野庁長官賞1点、里山賞1点、審査員特別賞1点、近畿中国森林管理局長賞7点、計10点の入選作品を決定し、表彰を行いました。



会場にて30作品を展示



前川局長の開会挨拶



メッセージの発表



メッセージの発表



最終審査



表彰状授与

フォトコンテスト入選作品

○林野庁長官賞

タイトル：「豊かな自然の生き物たち」
氏名：山下 泉マリー（滋賀県大津市）



○里山賞

タイトル：ミッション！ SATOYAMAパート2
「里山は心の中にあるんだよ」
氏名：須賀 修平・中川 卓・水野 弥生
（大阪府大阪市）



審査員特別賞

タイトル：「森の笑（わら）かし屋さん」

氏名：河合 智佳子（愛知県豊田市）



近畿中国森林管理局長賞

タイトル：「青春時代の1ページ

(O・M・o・I・D・e)」

氏名：野島 丈裕（大阪府大阪市）



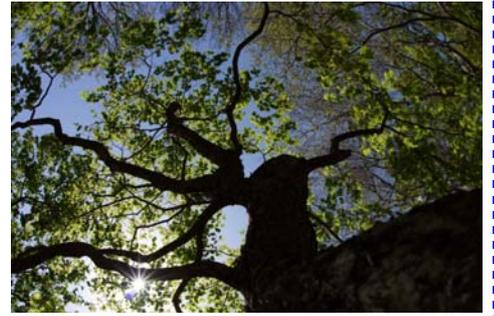
タイトル：「森とゆかいな仲間たち」

氏名：前田 純二・大谷 純（大阪府大阪市）



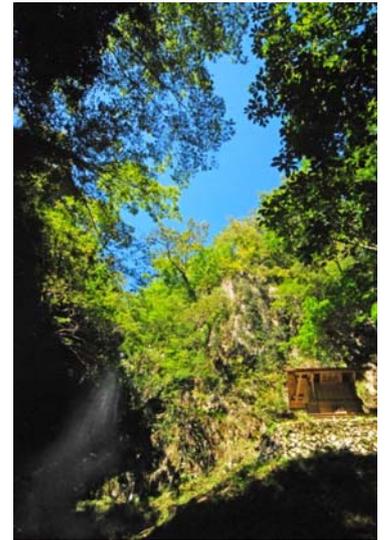
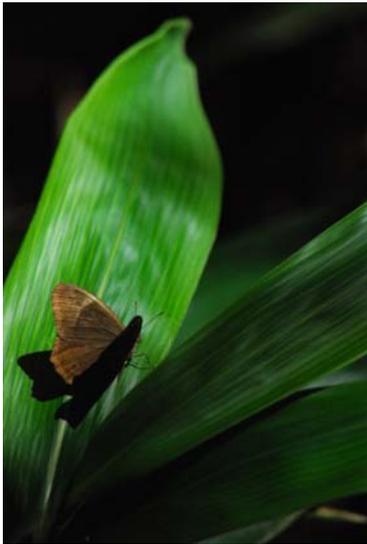
タイトル：「春が来た！！」

氏名： 難波 広樹（広島県庄原市）



タイトル：「守るべきいのち」

氏名： 服部 美沙（広島県庄原市）



タイトル：「森林（もり）は大きな図書館」

氏名： 湯川 喜義（長野県木曽郡）



タイトル：「背中に目をつけている虫、他」

氏名： 藤井 寧々（大阪府豊能郡）





都島中学校職業体験 1 日目（山仕事を体験）

11月7日（木）、大阪市立都島中学校の二年生3名を対象として、職業体験（箕面国有林で森林整備作業）を実施しました。

当日の天気予報は、天気は回復するとの予報でしたので、朝のミーティング後、箕面国有林に向けて出発しました。予報通り雨は止んだものの、どんよりした空が広がり今にも降り出しそう。現地に着いててさっそく体をほぐす準備体操をして作業に取りかかりました。

中学生達は、クヌギのポット苗（4～5年生の大苗）を各自1本づづ持って、藪の中に踏み込んでいきます。クヌギ苗を植えるスペースを作るため、下刈り鎌で1m四方を刈り払おうとしたその時、大粒の雨が降りだし、慌ててヒノキ林の中に駆け込み、雨宿りとなりました。雨は、しばらく止みそうもないので、「オオクワガタの棲める森づくり」の取組の話や植物観察などをしてしていると、雨も止んだので作業地へ戻り、藪を刈り払い、無事クヌギ苗を植える事が出来ました。

昼食後、休憩時間を活用して展望台へ案内し、最上段まで上がって遠望しようとしたのですが、雨の後、深い霧が立ちこめて、大阪市内も川西市方面も全く見えませんでした。

午後の仕事は、防鹿柵の見回りと補修です。植栽地へのニホンジカの侵入を防ぐために設置しているネットを見回り、侵入箇所がないか点検です。イノシシに持ち上げられて穴になり、ニホンジカが侵入した痕跡がありました。このため、ニホンジカが侵入しないように、ネットのすそにペグ（プラスチック製のネットを止める杭）を打ち込んで止めて廻りました。最初は慣れない仕事でうまくペグを打ち込むことができませんでしたが、作業にも次第に馴れて手際よくなってきたころには、作業は終了しました。

これまで知ることのなかったニホンジカ被害の実態や森を育てるということなどを学んでもらえたことと思います。自然の中での仕事もある当センターのような職場を目指してくれるかは分かりませんが、少しでも少年たちの未来に活かされることを願うばかりです。



下刈り



植付け



ネット補修

都島中学校職業体験二日目「水源の森ジオラマづくり」

1月8日（金）、大阪市立都島中学校の職業体験の二日目午後からの時間で「水源の森ジオラマづくり」の体験を実施しました。

「水源の森ジオラマづくり」は森林環境教育として、森林の機能のうち水源かん養機能について理解を深めてもらうため試行的に取り組んでいる題材です。

最初に、パネルを使って水の循環や保水機能、保安林の説明を行い、次に「水源の森ジオラマ」工作を行います。工作の材料は極力自然の素材を使うようにしており、ミニ樹木はイタドリの花穂、地面はケヤキの皮など自然の素材を活かした工作が特徴です。

生徒たちは、手順に沿ってジオラマを作製し、「水源かん養保安林」の看板と作品名を付けて完成です。作品名を付けるのに、随分と悩んでいましたが「豊かな川」「ゆらりゆらり川」などネーム板に書き込んで満足そうでした。川の部分は木工ボンドが乾くまで未完成ですが、翌日には、木工ボンドが乾き、透明になって川の色が浮かび上がって完成となります。この作業が職場体験の最後となり、参加した三名は大事そうに作品を手を持って帰って行きました。

保安林の説明などは、聴く機会もないことと思います。全部は覚えていなくても、少しでも記憶に残ってくれればと思います。



説明風景



完成記念写真

お知らせ：フォトコンテスト入選作品の展示を次の箇所で行う予定です。

近畿中国森林管理局1F（大阪市北区天満橋一丁目8-75） **現在展示中です。（随時展示予定）**

近畿農政局（京都市上京区西洞院通下長者町下る） **平成26年1月16日～1月31日**

京都中央郵便局ATMコーナー（JR京都駅烏丸口西側） **平成26年2月16日～2月27日**

林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F



国民の森林・国有林